

大館北秋田地域林業成長産業化協議会
木質バイオマス利用促進部会

協議記録

日時：令和元年7月12日（金）10：00～

会場：上小阿仁村役場 大会議室

大館北秋田地域林業成長産業化協議会 木質バイオマス利用促進部会 出席者名簿 (R1.7.12)

大館北秋田地域林業成長産業化協議会会員

番号	区分	所属	役職	氏名	備考
1	森林組合	大館北秋田森林組合	森林整備課長	畠山 文行	
22	製材・加工事業者	古河林業(株)	(欠席)		
25	木質バイオマス事業者	北秋容器(株)	営業次長	佐藤 礼樹	
26		ボルター秋田(株)	(欠席)		
27		KSウッドソリューション(株)	工場長	鈴木 誠幸	
28	木材流通事業者	物林(株)	国産材営業部	関口 祐之	
			プロジェクトマネージャー	齊藤 政子	
30	市村	大館市	農林課農林整備係主任主事	千葉 泰生	
31		北秋田市	農林課林業振興係副主幹	藤田 学	
			農林課林業振興係主事	杉渕 亜希	
			農林課林業振興係主事	長岐 英泰	
32		上小阿仁村	産業課林務商工班主査	田村 勇輝	
			産業課林務商工班主事	市川 淳也	

大館北秋田地域林業成長産業化協議会 委託業務受注者

番号	所属	役職	氏名	備考
1	森林資源バイオエコノミー推進機構株式会社	代表取締役	高田 克彦	

【R01. 07. 12 木質バイオマス利用促進部会】

木質バイオマス利用促進部会では、「ロードマップの進捗状況」、「今年度の取り組み内容について」について協議を行いました。

【協議内容】

(1) ロードマップの進捗状況、(2) 今年度の取り組み内容について

【木質バイオマス利用促進プロジェクト関連事業について】

<部会員>

・ 公共施設ボイラー更新のタイミングで積極的にバイオマスボイラーを導入してほしい。大館市ではペレットストーブ6台の設置予定ある。大館市外の方で興味のある方もいるので北秋田市、上小阿仁村でも補助を検討していただければありがたい。

・ チップの製造販売専門だが、品質管理には気を付けている。今後は安定供給のため材料の確保が課題になってくる。素材生産者と協力していきたい。年間 15,000 t の生産を目標にしている。

・ 集材コストがかかるためD材は積極的には搬出しない。道路付近等で条件がよければ搬出している。

・ 山林所有者としても利益の出る方法、金額がはっきりわかる方法を希望しており、市場への出荷するケースも多い。チップ業者の買取価格とつり合いがとれるかどうかのポイントだと思う。

・ バイオマス材の取り扱いが増えてきている。しかしながら枝葉、短コロはまだ山に置いたままとなっており、いかにして活用するかが課題と考えている。

・ 費用対効果でみるとメリットは弱い環境保護や、未利用材の活用という視点で見てほしい。

・ 継続的に利用するには材料の確保を考えていかなければならない。

・ 地域外、県外からも原木の引き合いが強く流出しているという面もある。

<事務局（市村）>

・ 消費することだけでなくバイオマスボイラーを使う事のメリットを見えるようにしていきたい。

＜事務局（委託事業者）＞

- ・木質バイオマスボイラーにする理由として、単純にコストだけでは灯油に負ける。経済波及効果、産業連携関連分析を考慮すればメリットが見えてくる。導入費用に補助金があれば導入が進みやすい。
- ・現実にはネガティブな話が多い需要側と供給側の連携がうまくいけば材料の確保がしやすくなると思う。

以上

